

第5回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会 に学生が参加し、プロジェクトの発表をしました！ (H30.1.20 岐阜大学 応用生物科学部)



平成30年1月20日(土)、岐阜市の岐阜大学応用生物科学部講堂で、第5回岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会が開催され、県下の農業関係高校、国際園芸アカデミー、森林文化アカデミー、農業大学校から選ばれた66課題、総勢100名以上が、6分野に分かれ発表を行いました。

そのうち農大は「B 作物・育種」と「D 畜産・野生生物」の2分野で2名ずつの計4名が発表を行いました。

発表の後、各分野内で活発な質疑応答や意見交換が行われ、それぞれの研究内容を違う観点から見た場合の意見や次年度にあらたに取り組むべきヒントとなるような意見が出るなど、非常に有意義な交流会となりました。

各分野の中から審査により1名に「優秀ポスター賞」が授与され、農大からも野菜果樹学科の学生が、「枝上げ処理がカキ「富有」の果実肥大・品質に及ぼす影響」で、畜産学科の学生が、「プレディッピングと搾乳手順の統一化による乳房炎の減少」と題した発表で優秀ポスター賞を受賞しました。

